「科学を楽しむ心」を忘れずに

第 21 回神奈川大学全国高校生理科・科学論文大賞専門委員会

審査委員長 引地 史郎

第 21 回神奈川大学全国高校生理科・科学論文大賞に応募された論文に関わった皆さん、そしてこのページを見て来年こそはこの理科・科学論文大賞に応募しようと思っている皆さんにお伝えしたいことがあります。それはこの先も「科学を楽しむ心」を忘れないでいて下さいということです。応募された論文を読んでいると、皆さんがそれぞれの視点で様々な科学的事象に興味を持って実験に取り組み、そしてその結果からどのような結論がみちびきだせるのか、一生懸命に考察している様子が伺えます。これはつまり、皆さんの「科学を楽しむ心」が、論文という形で実を結んでいるということです。

皆さんの中には、高等学校を卒業した後、大学に進学して、より専門的な科学を学ぼうと考えている人も多いのではないかと想像します。専門的に学んでいく中では、課題をこなすことで精いっぱいになってしまったり、なかなかすぐに理解できないことに遭遇したりといった、“壁”にぶつかることもあるかもしれません。そしてそのようなときには、この理科・科学論文大賞の論文をまとめた時の達成感、そしてその原動力である「科学を楽しむ心」を思い出してほしいのです。さらに言えば、大学での専門的な学びの場に限らず、私たちは日常生活を送る中で、様々な科学的な事象に遭遇します。「科学を楽しむ心」があれば、日常生活そのものが楽しさにあふれたものになります。どうか皆さん、「科学を楽しむ心」を忘れずにいて下さい。